

プロ棋士

柳時薫 九段



ねりんピックは、普段会えない人と交流できる素晴らしい機会でした。囲碁は、年配の人でも長く楽しめることを再確認しました。

今後は、若い人たちにも囲碁の楽しさを伝えていきたいと思っています。

辻華 二段



指導対局でたくさんの人と対局しました。対局した皆さんが、向上心が高く、強かったです。

囲碁は、いくつになってもできる趣味です。これからも皆さんに、囲碁を長く楽しんでほしいと思っています。

大森らん 初段



指導対局に参加した皆さんが、とても強い人が多かったのでレベルが高いと感じました。

囲碁を通して、たくさんの人とつながることができます。今回のような機会を皆さんに楽しんでほしいです。



第35回全国健康福祉祭えひめ大会  
ねりんピック愛顔のえひめ2023

囲碁交流大会開催

10月29、30の両日、第35回全国健康福祉祭えひめ大会ねりんピック愛顔のえひめ2023「囲碁交流大会」が、松前公園体育館で行われました。

県内外から訪れた147人の選手たちが熱戦を繰り広げたほか、健康づくり教室やおもてなしコーナーなども設けられ、多くの人でにぎわいました。

司会

まさきオフィシャルサポーター  
河内 裕里 さん



選手の皆さんの囲碁に対する熱い姿勢が感じられました。いくつになっても熱心に取り組む姿がかっこよくて、刺激を受けました。

好きなことを全力で取り組むのは、人生の中でもいい瞬間になります。今後も囲碁を楽しんでください。

最高齢者賞

91歳  
岡山県選手団のぶはら ちよ  
延原 千節 さん



60代で囲碁を始めました。選手の中の最高齢ということを知って、驚いています。私は、書道や写真など趣味が多いのですが、その中でも囲碁は、ごまかしがきかないところに魅力を感じています。

これからも、できるだけ長く囲碁を続けていきたいです。

指導対局に参加

松前小学校 5年  
みずま ちよ  
水町 仁俊 さん



3年生の頃から囲碁を始めて、1年半になります。辻二段と指導対局をしました。「とても強い」と言われたのでうれしかったです。プロ棋士と囲碁ができて勉強になりました。

来年は、小学生の部で囲碁の全国大会出場を目指します。

囲碁交流大会本町唯一の出場者

かわむら とみ お  
河村 富夫 さん = 宗意原 = (84歳)



目標にしていた団体戦での優勝はかないませんでした。個人の結果は、3勝1敗。最後の試合で負けてしまったのが、とても悔しいです。最後に試合をした相手は、以前に出場した大会でも負けた相手。残念ながら、リベンジを果たせませんでした。この悔しさをバネに、100歳まで囲碁を続けたいです。

皆さんの応援や、大会会場でのおもてなしなどに感謝しています。最後まで応援して下さった皆さん、大会関係者の皆さんありがとうございました。



1\_ 選手宣誓は本町唯一の出場者、河村富夫さん  
2\_ 張り詰めた空気の中、囲碁を打つ選手 3\_ 健康づくり教室で簡単にできるトレーニングを教わる  
4\_ 大盤解説にくぎ付け 5\_ プロ棋士の指導を受けながら対局 6\_ 手作りのちわを持って駆け付けた応援団と選手。町内の小中学生が作ったのぼり旗の前で 7\_ 特産のはだか麦を使ったおもてなし料理に舌鼓 8\_ 手を振って選手を見送る